---第 24 期---

No.06
2022/11/30

八ヶ岳歩こう会　会報

■事務局からのお知らせ

◎師走がやってきました。今年もコロナにかからず無事に終えそうです、皆様方は如何でしたでしょうか。そんなことばかりが気になるここ数年です。いやですね。気になるといえばカレンダーが最近どこからも来ません。現役を離れ、社会とあまり縁が無くなったからでしょうか、それとも世の中が不景気だから？　私の欲しいのは「日めくりカレンダー」。子供の頃これを毎日破って捨てるのが私の役目でした。だんだん薄くなっていくカレンダーとともに、お袋がなにやら忙しく動き回って、障子の張り替えやら、年によっては畳替えやら、経師屋さんが来てふすままで張り替えるというような事もあり、子供心に師走だなあと何故か心はずんだものでした。男 4 人兄弟を持つ家庭は、年末年始のほんの一時、破れのない障子とふすまになって見違えます。

年末の「大掃除」というものは本当に「大掃除」でした。すす払いから始まったような気がします。ガラス磨きは徹底的にやらされ、一番苦手でした。柱に掛かる振り子時計まで外して、文字盤と長針と短針まできれいに拭った記憶があります。父親が夜遅く赤い顔をして何やら手にぶら下げて帰ってくるのもこの頃で、後にそれが忘年会なるものだと知りました。同じ頃両親は子供の知らぬところでボーナスだのクリスマスプレゼントだののひそひそ話もしていたのでしょう。台所で煮豆やら煮しめなどが作られ始める頃、我が家にのし餅やら塩鮭やらが届いて、師走の気分は正月の気分と変わって、子供達もなぜか気分は最高潮に達します。

というような事柄はもう思い出の中にしかありません。今の我が家には障子もふすまも無く、畳があるのは一部屋だけ。大掃除も気合を入れてやらなくなりました。ボーナスもクリスマスプレゼントの心配も無くなりました。夜遅く帰って来る親父も子供もいなくなりました。

それでは寂しいので今年は、ここ数年遠慮していた「忘年会」だけは「やらねば師走がこない」と気合を入れております♪。今月の最後の例会の後の「納会」って「忘年会」ですよね(^-^;？楽しみにしています。

今号は「やっぱり 12 月というのは特別な月だなあ」という私の勝手な思いを書かせて頂きました。（多賀）

◎訃報：重田弘子さんがご逝去されました、謹んでお悔み申し上げます。

◎退会員：中村稔さん(山梨市)

【2022 年 12 月の行事詳細】

■12 月 5 日(月)　江戸巡礼古道ウォーク(第 3 回)

17 番：定林寺～24 番:法泉寺

秩父札所のおこりは文暦元年(1234 鎌倉時代中期)と伝えられています。長享二年(1488 室町時代中期)には秩父札所番付が実在することから秩父札所が定着していたと考えられます。

ただ当時の札所は三十三カ所で、札所の順番も現在とは異なっていたようです。長野県佐久市にある石碑から大永五年（1525　室町時代後期）には現札所二番の真福寺も含め秩父三十四カ所となり、西国三十三、坂東三十三と合わせ日本百観音と数えられてきたようです。江戸時代までには四萬部寺を一番として始める現在の番付に改められ、点在する札所を結び江戸方面からの巡礼がしやすいよう巡礼道が整備されたようです。秩父札所は江戸からも近くまた全ての札所が秩父内（武蔵の国秩父郡）にあり、二十五里ほどで全てを巡ることができることから江戸時代元禄年間には江戸の庶民の秩父巡礼が盛んになりました。ちなみに西国は一巡約二百五十里、坂東は一巡約三百里で、庶民が巡るにはかなりハードルが高かったと思います。江戸巡礼古道を使い秩父三十四札所を巡るウォークの第三回目です、札所 17 番の定林寺を出発し札所 24 番の法泉寺あたりをゴールの目標にしますが、帰りの時間を優先し４時から４時半頃には秩父を出発します。出発から 19 番の龍石堂までは第 2 回の後半に続く秩父市街地で、歴史を感じさせる蔵づくりの店などの街並みを楽しみながら歩きます。20 番岩之上堂からは郊外の風景が続きます。23 番音楽寺あたりから札所間の距離が長くなり、山門から長い階段を登るような札所が現れます。このあたりからがいよいよ秩父札所巡りの醍醐味となります。

・コース：定林寺 → 神戸寺 → 龍石寺 → 岩之上堂 → 観音寺 → 童子堂 → 音楽寺 → 法泉寺

トイレは各札所とコース上にいくつかあります。昼食場所は未定です、ゴールの札所は進行状況により前後します。

・距　離：約 12km

・集　合：平田家住宅前駐車場 7：00　甲府駅北口 7：50
道の駅花かげの郷まきおか 8：30

・解　散：道の駅花かげの郷まきおか 18：20 頃　甲府駅北口 19：00 頃
平田家住宅前 20：00 頃

・参加費：会員 500 円　一般 1,000 円　バス代　会員 5,500 円　一般 6,000 円（バス代は参加者数等により増減の可能性があります）

・持ち物：弁当、飲み物、雨具、ウオーキングダイアリー(会員のみ)、保険証等

・担当者：大嶋俊壽(080-2044-4766)　多賀純夫

・その他：新型コロナウィルスの感染状況によっては再延期、中止の可能性もあります、ご承知おきください。

・申込み：「バス乗車地」と「携帯番号」を添えて以下に申し込んでください。
多賀純夫　Mail: taga-ya@pairhat.jp　Fax:0551-32-6877

■12 月 7 日(水)　月例会　韮崎市民交流センター(ニコリ)　2 階第 9 会議室 10：00

■12 月 12 日(月)　500 選の道(19-8) 日本三大堰・徳島堰を巡るみち(Part3)

武田の里は、きれいに刈り取られた田んぼは、初冬の景色を見せてくれます。里のシンボルである甘利山の優しい稜線を右手に見ながら、山裾に沿うように流れている徳島堰を歩きます。

最大の難工事であったと言われている御勅使川暗渠(みだいかわあんきよ)は、天下の暴れ川で知られている御勅使川の川床の下を、川幅１５０M 程の長さを横断するように暗渠(トンネル)が通っています。新たに、先人達の偉大さを知ることになります。

コースにおいては、道幅が狭くて歩道がない所を歩きます。車が近づいたら互いに声を出し合って、車に注意していきます。

・コース：韮崎駅(トイレ) → 願成寺(トイレ) → 韮崎大村美術館・大村先生の生家(ノーベル賞) → 大公寺(昼食・トイレ) → 御勅使川暗渠 → 県立御勅使南公園(トイレ)

・距　離：約 11ｋｍ

・集　合：JR 韮崎駅　9：40

上り、小淵沢駅 8：48→穴山駅 9：17→韮崎駅 9：24

下り、塩山駅 8：39→石和温泉駅 8：52→甲府駅 9：16→韮崎駅 9：30

・解　散：県立御勅使南公園(管理事務所付近)　15：00

解散場所より最寄りの駅まで離れています。

市営バス利用の方は、近くの社会福祉村停車場で乗車します。

(社会福祉村、始発 15：40→韮崎駅 16：01　一人/370 円)

足に自信のある方は、最寄りの塩崎駅まで歩きます。(約４KM)

・参加費：会員 300 円　一般 500 円

・持ち物：弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー(会員のみ)・保険証・マスク・その他

・担当者：田中哲夫((090-4927-5044))　恵星富子・池田敏子・望月澄子

■12 月 16 日(金)　鎌倉殿の 13K ウォーキング

NHK の大河ドラマ『鎌倉殿の１３人』もいよいよ大詰めです。

初冬の鎌倉の古道を頼朝や登場人物達の思いを想像しながら歩きましょう

・コース：京浜急行金沢文庫駅 → 称名寺(金沢文庫) →（薬王寺）→（安立寺）→ 明治憲法草創碑 → 瀬戸橋 → 枇杷島神社＜昼食＞ → 瀬戸神社 → 京急金沢八景駅バス移動　金沢八景駅 → ＜京急/神奈中バス＞ → 朝比奈バス停下車（上総の介広常墓）→ 朝夷名切通 → 三郎の滝/大刀洗水 → 光触寺/塩嘗地蔵 → 杉本寺 → 永福寺跡 → 荏柄天神 → 頼朝墓 → 白旗神社/鶴岡八幡具 → JR 鎌倉駅

注：　(.－－－）は紹介のみで立ち寄りません。

・距　離：約１０ｋｍ　バス３ｋｍ

・集　合：京浜急行金沢文庫駅改札　10 時

・解　散：JR 鎌倉駅東口　16 時 30 分予定

・持ち物：お弁当、飲み物、雨具、マスク、ウォーキング手帳(会員)、保険証

・担当者：最上(080-3253-8113)、村松（090-6526-6737)、村尾

・その他：施設入場に 300 円程度必要になる所があります。

バス料金 210 円が別途必要です。

JR の青春１８切符の適用期間です。当日の天気が懸念される場合は、天気を確認した上で 15 日に切符を購入することをお勧めします

スマホアプリ「AR 永福寺」をダウンロードしておくと復元図が見られます。(無料アプリ)

12 月 14 日 18 時の天気予報で鎌倉の 16 日の降水確率 50%以上の場合は開催を中止します。

・参　考：往路　JR 小淵沢 06：02 発　甲府 06：43 発

八王子、横浜　経由で京浜急行（特急。急行）で金沢文庫下車

復路　JR 鎌倉発 16：38　→　小淵沢 21：31

JR 鎌倉駅 17：14　→　小淵沢 21：31

■12 月 24 日(土)　納会ウォーク(甲府城跡と旧城下町を歩きます。)

甲府城跡について、

400 年の歴史を誇る、国の指定史跡である甲府城跡を訪れます。初めには、復元された白壁の美しい二重二階層の稲荷櫓になります。敵を寄せつけない威厳のある姿は、冬の空に映えて絵になります。次は、初期の頃の本格的な城郭で石垣の高さは、東日本一の高さを誇る見ごたえのある野面積みの石垣になります。歴史的にも貴重な価値がある野

面積みの石垣だと言われています。今回は、稲荷櫓と野面積みの石垣を訪れます。(夏草や兵どもが夢の跡)旧甲府城下町について、旧城下町は、かっては江戸から学者や文化人、歌舞伎役者が盛んに往来し、(小江戸甲府)と呼ばれるにふさわしい賑わいをしていたと言われています。そんな中、特に栄えたのは旧八日町だと言われています。江戸時代に長泉寺前で毎月八日に市が立ったという理由から名前が生まれて、甲府城が築城され城下町を整備した時に甲州街道沿いに移したということです。甲州街道は、江戸と甲府を繋ぐ役割を担っていましたから、旅人も大勢立ち寄ったと言われています。商いの中心地であり、また、文化の発信地でもあったと言われています。現在の甲府市中央２～５丁目辺りになります。旧八日町ではやはり、印傳屋・上原勇七さん・煮貝の元祖・みな与さんになります。

昭和 20 年(1945 年)甲府空襲、及び都市再開発等で甲府の良き時代の面影が失われました。少しだけ見ることができるのは、旧金手町・旧魚町・旧八日町辺りになると思います。今回は、旧甲州街道沿いの一部歩きます。

快い汗をかいた後は、楽しい食事会になります。

・コース：甲府駅南口・信玄公前(トイレ) → 甲府城跡 → 旧城下町(旧境町・旧横近習通り・旧金手町・旧魚町・旧八日町) → 柳町大神宮 → 三枝豆店 → 松林軒 → 甲府駅南口(トイレ)

・集　合：JR 甲府駅南口・信玄公像前　10：00
上り、小淵沢駅 8：48→穴山駅 9：17→韮崎駅 9：25→甲府駅 9：38
下り、塩山駅 9：29→甲府駅 9：49

・解　散：甲府駅南口　12：30

・距　離：４ｋｍ

・参加費：会員 300 円　一般 500 円

・持ち物：飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー・マスク・保険証・その他

・担当者：田中哲夫(090-4927-5044)　伊藤清(090-5331-3173)
小野寿美枝　早川美知子

・その他：食事会　予約制です。13 時より始めます。
奥京　場所は甲府駅南口近くです。甲府市丸の内２－１５－７
TEL055-228-8250
一人 2,000 円(税込み)、飲み物は別になります。
申込み　田中哲夫(090-4927-5044)　※12 月 20 日(火)締め切りです。

【2023 年 1 月の行事詳細】

■1 月 11 日(水)　月例会

■1 月 14 日(土)　甲府七福神巡りウォーク

甲府七福神巡りは、今年最初の例会になります。一段と元気を出して頑張っていきます。
コースにおいては、車の往来が多いためなるべく一列になって、お互いに声を出しあいながら注意していきます。
途中において、長禅寺の脇より愛宕山中腹の展望台までは、登りになります。ゆっくりとしたペースでいきます。距離にして１KM 位です。あとは、足に優しい歩きやすいコースに設定してあります。
武田三代のゆかりの史跡及び昔懐かしい街並みを見ることができます。又、愛宕山中腹展望台より天気がよければ、南アルプスの３千メートル級の峰々が雪化粧した素晴らしい山容を一望できます。楽しいウォーキングにしていきます。

・コース：甲府駅北口(トイレ) → 華光院 → 行蔵院 → 玄法院 → 御崎神社 → 緑ヶ丘スポーツ公園(昼食・トイレ) → 塩澤寺 → 法光寺 → 清運寺 → 甲府駅北口
・距　離：約１１KM
・集　合：JR 甲府駅北口・武田信虎公像前　10：00
上り　小淵沢駅 8：48→長坂駅 8：56→穴山駅 9：17→韮崎駅 9：25→甲府駅 9：38
下り　塩山駅 9：29→石和温泉駅 9：42→甲府駅 9：49
・解　散：甲府駅北口　15：00
・参加費：会員 300 円　一般 500 円
・持ち物：お弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー(会員のみ)・マスク・保険証・その他
・担当者：田中哲夫(090-4927-5044)　小野寿美枝・早川美知子
・その他：甲府七福神　行蔵院(ぎょうぞういん)・寿老人/華光院(けこいん)・毘沙門天/玄法院・福禄寿/御崎神社・恵比寿/塩澤寺・大黒天/清運寺・弁財天/法光寺・布袋尊
御朱印は、各神社にある特製台紙(500 円)を購入して、御朱印料は１ヶ所(300 円) 7 ヶ所巡ると七福神の御朱印を揃えることができます。

■1 月 23 日(月)　500 選の道(19-06)甲斐の道・茶道峠を越えるみち

【2023 年 2 月の行事詳細】

■発行日現在、予定はありません。